

4.17 CIM 解決研究会第 24 回勉強会のご報告

平成 29 年 4 月 17 日

CIM 解決研究会事務局

去る紀尾井フォーラムにおいて、49 名の参加者を得て第 24 回の CIM 解決研究会勉強会が開催されました。

本日の話題提供として(一財)先端建設技術センターの緒方正剛様より、UAV 起工測量時のラップ率制限の緩和等、国土交通省が発表した CIM 導入ガイドラインの改定内容についてのお話を頂きました。



「3D プリンター用カルシウム系材料および出力機器の開発と、建設業界での可能性」

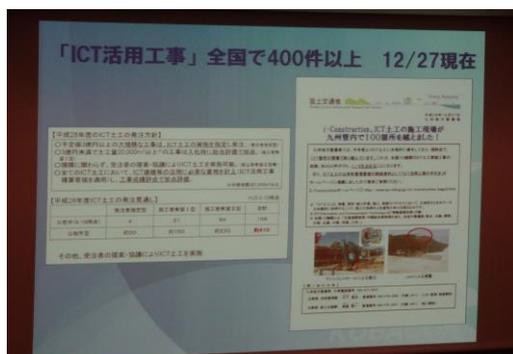
(有)ニコラデザイン・アンド・テクノロジー 水野操様、太平洋セメント(株) 前堀伸平様、小川洋二様

3D プリンターを駆使した特殊形状製品の作成事例や、材料の安定供給等の現状の課題に関するお話を頂きました。参加者の方からは「材料の面で何かできるのではと思った」といった感想を頂きました。



「i-Construction 課題と問題点」(株)小林コンサルタント 岡田雅史様

協力会社への業務の丸投げや、二重管理による手間が増えた事例等、i-Construction 導入により発生した問題に関するお話を頂きました。参加者の方からは「技術の経験者が高い技術力を保持する方が少ないための課題と問題点を理解した」といった感想を頂きました。



「FMシステムのBIM/CIM利用について」(株)アイスクウェアド 澤本勇樹様

ファシリティマネジメントシステムを導入することによるコストの削減案に関するお話を頂きました。参加者の方からは「使い方はさまざま、新規、大規模には有効かと感じた」といった感想を頂きました。



「現場の3次元化事例等」 当会 齊藤学一、福士幹雄

福士からは、測量前のみえる化による周辺住民への現場状況の説明等、東北の各現場におけるみえる化の事例に関する話をさせて頂きました。参加者の方からは「常に新技術を使いながらの技術提案と各種資料の作成は受注に対する効果あり」といった感想を頂きました。

齊藤からは、勉強会前の総会にて理事の留任、入会金・年会費の改定が決まったことの報告、ドローン教室の開催に関するアナウンスをさせて頂きました。



勉強会終了後の懇親会には30名の方にご参加いただきました。沢山ご来場頂き有難うございました。

